

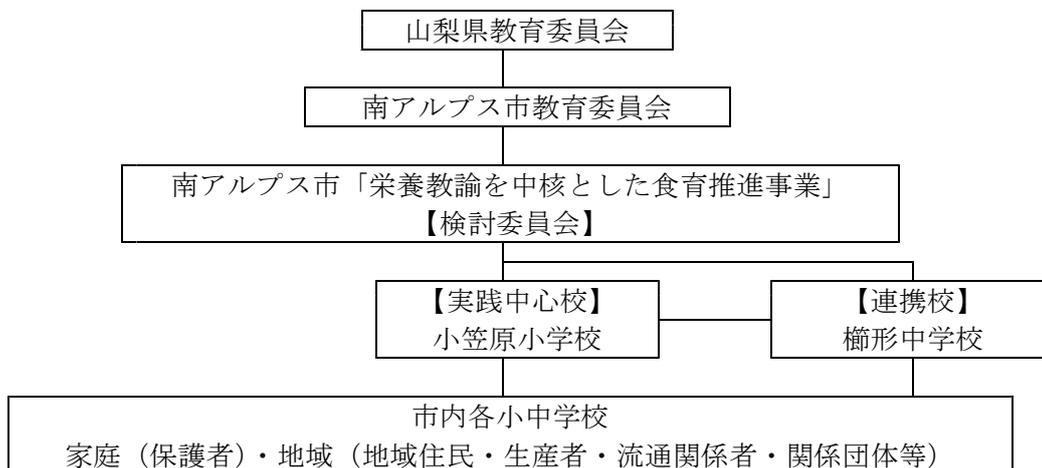
「栄養教諭を中核とした食育推進事業」

- ・ **推進地域** 南アルプス市
- ・ **事業委託先** 南アルプス市教育委員会
- ・ **実践中心校** 南アルプス市立小笠原小学校

栄養教諭を中核とした食育推進事業 報告書

都道府県名	山梨県
推進地域名	南アルプス市 (小笠原地区)

1. 事業推進の体制



2. 具体的取組等について

テーマ1	教科等における食に関する指導の取り組み
<p>①食に関する全体指導計画・年間指導計画の見直し</p> <p>前年度までに作成した全体指導計画及び年間指導計画を、新学習指導要領に合うように見直しを行った。また、計画されている食に関する指導の中で、特に栄養教諭の指導を必要とするものを洗い出し、一覧表にまとめた。</p>	
<p>②年間指導計画に基づいた食に関する指導の授業実践</p> <p>1年生：生活科「学校探検」（給食室を探検しよう） 道徳「きゅうしょくじまん」 学級活動「きゅうしょくについて しろう」</p> <p>2年生：道徳「かむかむメニュー」 「ごちそうさまのあとで」</p> <p>3年生：総合的な学習の時間「大豆の栄養」 社会科「調べよう 物をつくる仕事」（地域の野菜） 道徳「農家の人の願い」 「いのちをいただく」</p> <p>4年生：社会科「ごみはどこへ」（給食のごみ） 「昔のくらしと町づくり」（給食の移り変わり）</p>	
	 <p>《2年生・ごちそうさまのあとで》</p>

《6年生・楽しい食事を工夫しよう》 道徳「ありがとうのことば」

5年生：社会科「農業のさかんな地域をたずねて」
(ごはん食の良さを知ろう)

6年生：家庭科「楽しい食事を工夫しよう」
(五大栄養素と献立のたてかた)

道徳「私たちにできることは」

特別支援学級：生活単元学習

「バランスよく食べて元気な心と体をつくろう」



《特別支援学級・
バランスよく食べて
元気な心と体をつくろう》

③学級活動への指導資料作成

年間指導計画に基づいた指導内容を発達段階に合わせて資料作成し、担任が指導した。

④給食集会

・第一回「給食のことを知ろう」(〇×クイズ)

給食委員会の児童が考えたクイズを、全校児童が〇で答えて楽しんだ。答えにたいしての解説をその都度伝え、楽しい中で給食について考える機会とした。

・第二回「きちんと食べて 元気な体をつくろう」(紙芝居)

大型スクリーンに絵を映し出しての紙芝居。映像に合わせて、給食委員会の児童が話をした。



テーマ2 農業体験を食育に生かす取り組み

①教科と関連した栽培活動

各学年で取り組み、栽培の大変さや収穫の喜びを体験したのち調理して味わった。また、給食の食材として一部全校に提供し、感謝されることの喜びも知った。

1年生：さつまいも 2年生：トマト、枝豆、小麦
3年生：大豆 4年生：かぼちゃ
5年生：米

②野菜作り育成隊の活動

「じゃがいも育成隊」「なす育成隊」「さつまいも育成隊」「だいこん育成隊」の参加希望者を各30名程度募り、活動した。土作りから収穫までを体験し、食べ物を大切に作る心や食べ物に感謝する心を育てた。また、収穫された野菜を給食の食材として、全校で味わった。



③育成隊の活動紹介

育成隊活動紹介の掲示板に、「命を生みだす」「命を育む」「命をいただく」という観点で随時写真を掲示し、全校児童に活動を知らせた。収穫した野菜を給食メニューに取り入れたときには、給食時間の放送の中で給食委員会が知らせ、育成隊に感謝する機会とした。

テーマ3 家庭や地域と連携した食育の取り組み

①地産地消の推進

南アルプス市特産品企業組合「ほたるみ館」や JA こま野直売所及び農家と連携して、南アルプス市産や山梨県産の食材の利用に努めた。

【給食に使用した南アルプス市産の食材】

米・さくらんぼ・すもも・ぶどう・梨・柿・じゃが芋・里芋・玉葱・きゅうり・
グリーンボール・スティックセニョール・ねぎ・ズッキーニ・なす・ピーマン・
大根・白菜・しいたけ・ほうれんそう・小松菜・水菜・タアサイ・レタス 等

②親子料理教室の開催

「夏野菜を使った夏バテ防止メニュー」（6月18日）、「地産地消メニューで残暑を乗り切ろう」（9月3日）のテーマで、PTA給食部の事業として全校から参加者を募って2回開催した。2回とも子どもが嫌う野菜をたっぷり使ったメニューだったが、おいしく食べることができたと好評だった。開催後、給食部便りとして料理教室の様子や参加者の感想、料理のレシピを載せて全家庭に配布した。



③給食試食会の開催

1年生保護者を対象に5月20日に親子試食会を開催し、親子が同じ机で給食を楽しんだ。試食後、保護者に対して給食や食育について、講話の機会を持った。また、行事で出かけている学年の教室を借りて、7月8日と11月10日に全校保護者から参加希望者を募って試食会を開催した。児童の給食当番と同じように参加者に準備・配膳・片付けをお願いしたことが、子どもたちの給食の様子がよくわかったと好評だった。

④食育講演会

11月20日に、習志野市立鷺沼小学校校長であり、前文部科学省スポーツ青年局学校給食調査官である米満裕氏を講師に招いて開催した。家族団らんの大切さ、食文化を伝えることの大切さをわかりやすい言葉でお話しいただき、好評だった。



⑤食育だよりの発行

第一号は事業の概要と食生活アンケート結果を載せて8月29日に発行、第二号は食育講演会と試食会についての内容で12月6日に発行し、小笠原小学校と櫛形中学校の全家庭と南アルプス市内小中学校に配布した。本事業の成果を載せた第三号を、3月に発行する予定。

⑥レシピ集発行

好評だった親子料理教室での料理を、多くの家庭に紹介するために発行。地域の野菜を使用した給食メニューが元になっていて、親子で作ることができる簡単なメニューを10種類掲載した。使いやすいうように、A5版16ページとした。小笠原小学校と櫛形中学校の全家庭と、南アルプス市内小中学校に配布した。



⑦図書室との連携

「おいしい本の日」として本に出てくる料理を給食メニューに取り入れることを、小笠原小学校と櫛形中学校で実施した。給食室と図書室の両方から児童・生徒に紹介して、興味を喚起した。両校ともに、3月も実施の予定。

《小笠原小学校》 9月「おばけパーティ」かぼちゃのポタージュ、
サーモン料理（サーモンのホイル焼き）

10月「くまの学校」豆のポタージュ、
トマト料理（トマト煮込みハンバーグ）

11月「こまったさんシリーズ」イカカレー、グリーンサラダ

12月「おばけのきゅうしょく」ビーフシチュー、フルーツゼリー

1月「小さなりゅう」海藻サラダ

2月「おにたのぼうし」あかごはん（お赤飯）

《櫛形中学校》 8月「食堂かたつむり」ジュテームスープ

9月「夢をかなえるゾウ」あんみつ

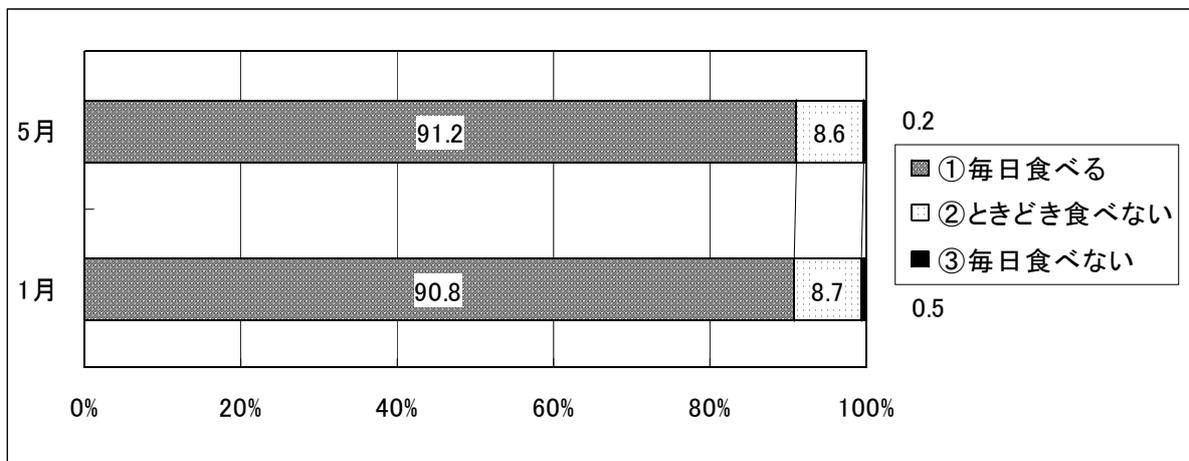
- 10月「JIN」揚げ出し豆腐
- 11月「大きなかぶ」かぶのスープ
- 12月「蜜柑」みかん
- 1月「ぐりとぐら」カステラ
- 2月「スヌーピー」チョコチップクッキー

アンケート結果（平成23年5月、24年1月実施）

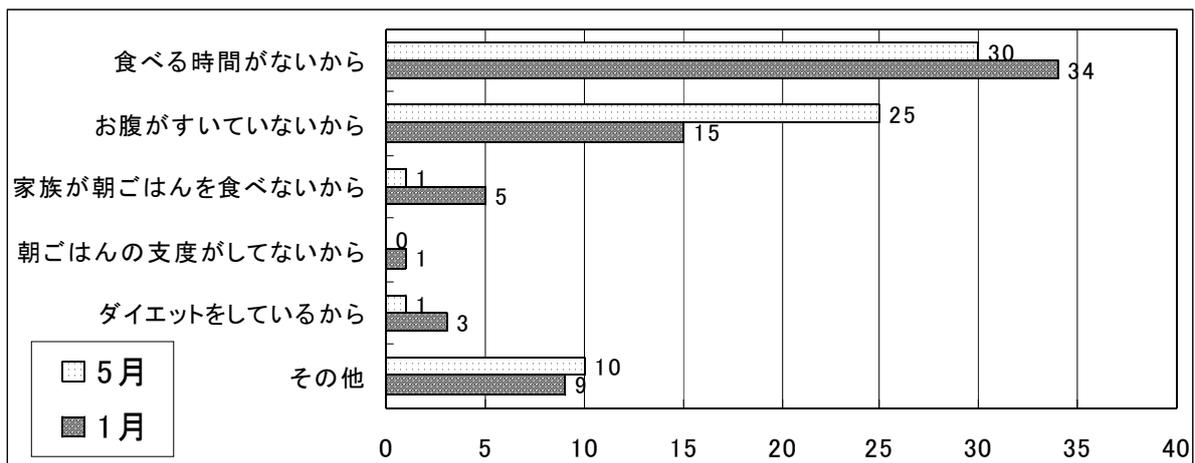
事業に取り組み始めた5月と、取り組みが進んできた1月に同じ項目で実施して、事業の成果を検証した。朝食の摂取状況と、嫌いな食べ物に対する姿勢にしばったアンケートとした。

調査期間を一週間設定し、各学級担任がクラス分を集計した。回収率は5月が98.6%、1月が97.9%だった。

1 毎日、朝ごはんを食べますか。



* ②③と答えた人、なぜ食べないのですか。



その他

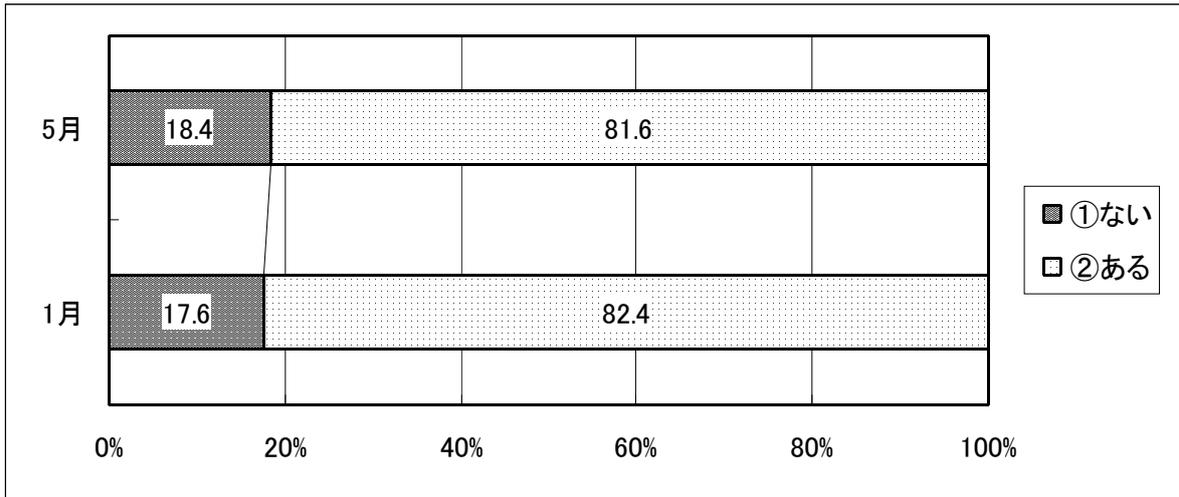
- 5月・めんどうくさいから
 ・食欲がないから
 ・気持ち悪くなるから
 ・日曜は昼頃起きるから
 ・忘れる

- 1月・めんどうだから
 ・食べたくないから
 ・お腹が痛くなるから
 ・具合が悪いから

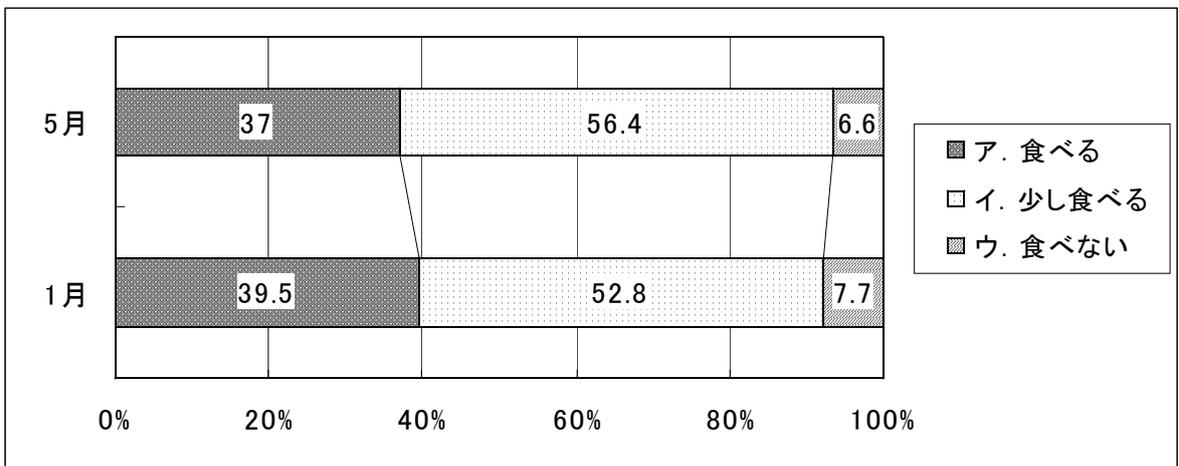
等

等

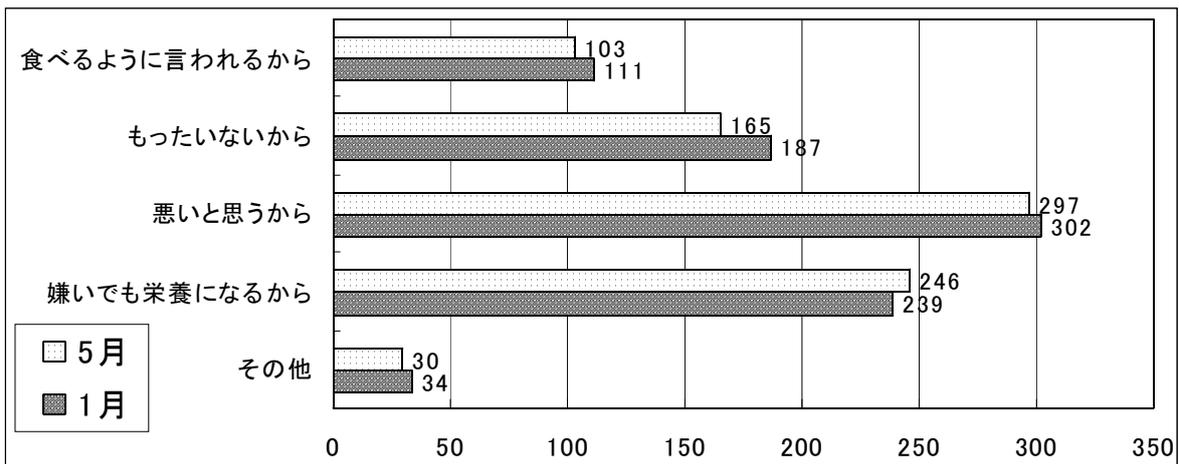
2 嫌いな食べものがありますか。



* ②と答えた人、嫌いな食べものが給食に出たときはどうしますか。



* ア. イ. と答えた人、なぜ食べるのですか。



- その他** 5月・食べられるようになりたいから ・好き嫌いをなくしたいから
 ・命を無駄にしてしまうから ・食べられない人もいるから 等
- 1月・嫌いでも食べられるから ・残したくないから ・食べものに失礼だから
 ・命をもらっているから ・作った人に悪いから ・食べものがかわいそう
 ・被災地の人たちは、少ししか食べられないから ・完食シールがもらえるから 等

【考 察】

短期間での2回の調査であるため、大きな差異は見られない。しかし、朝食を食べない理由の「お腹がすいていないから」の減少は、夕食の時刻や就寝時刻に改善があったことが期待される。給食で嫌いなものが出たときにどうするかの間で、「食べる」の答えが増えたことは成果である。嫌いなものでも食べる理由で「食べるように言われるから」が増えたことは、担任の指導機会が増えたことを伺わせる。また、「もったいない」「作ってくれた人に悪いと思うから」が増えたことは、授業の効果と思われる。その他の記述でも「食べものに失礼」「命をもらっているから」など、自己都合でない理由も増えている。「シールがもらえるから」は、担任の努力の表れと思われる。

食育は短期間で成果のあがるものではないので、子どもたちの小さな変容を大切にしたい。取り組みを継続することで、さらに大きな成果が現れると思われる。

3. 事業全体を通じて、特に効果のあった方策等について

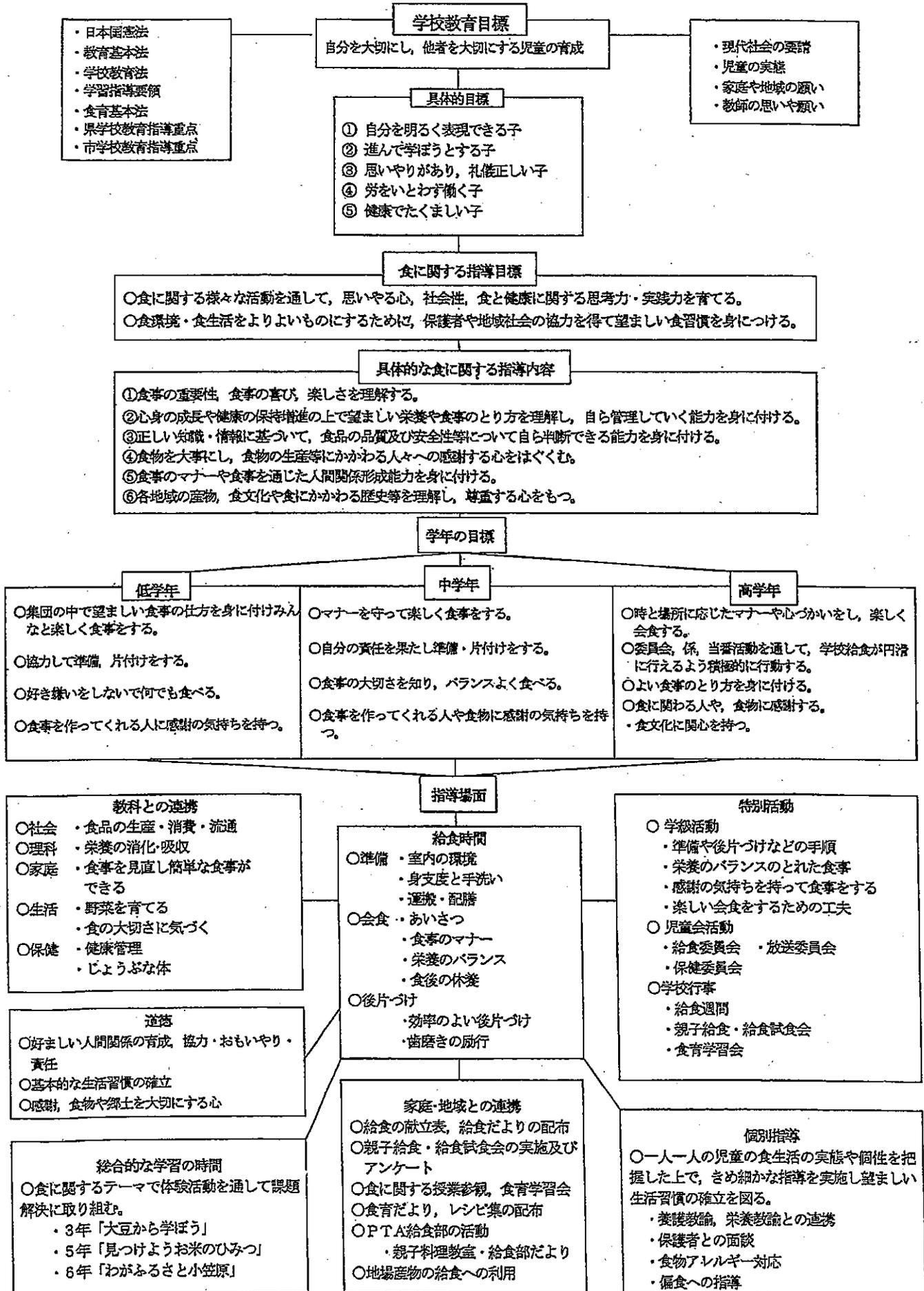
- 計画に基づいて、教科の中での食に関する指導の授業を実践できた。これにより食に対する関心や感謝の気持ちが育まれ、残食量の減少に表れてきた。また、教職員も食に対する理解が深まった。
- 試食会や料理教室、学年部会等保護者と直接食について語らう場面が増え、行事ごとのアンケートに記入された内容を見ると保護者の食に対する関心が高まったことがわかる。
- JAや企業組合の担当者が、熱意を持って地産品を給食に使用するために協力していただくようになった。農家の中では学校側の希望に沿って、栽培品種や量を増やすといった意向も聞かれる。関係者の連携により、今後も地産地消がさらに進んでいくと思われる。
- 食育の歴史のある本校には、様々な食に関する活動がある。それを、一貫した取り組みとして整理し、各事業等の目的を明確にすることができた。

4. 今後の課題(今回の事業により新たに見えた課題など)

- 授業後、食に関する関心や意欲は高まるが、これを持続させ生活に生かしていくことはむずかしい。計画に基づいて数多くの食に関する指導を授業に取り入れ、常に食について考えさせる機会を児童に持たせることが必要である。
- 連携校である中学校へ、小学校の取り組みをいかに引き継いでいくかが大切である。小中9年間の指導計画を作成して実践できれば、小学校での指導を児童の将来に生かすという目的達成の確率は高くなる。教育課程作成時の、小中の連携が必要である。地域としてはさらに、幼稚園・保育所と高等学校とも連携できるとよい。

食に関する指導全体計画

小笠原小学校



平成24年度食に関する指導年間計画

項目	月	4 月	5 月	6 月	7 月		
保 健 目 標		自分の体を知ろう	体の悪いところを治そう	歯を大切にしよう	夏を健康にすごそう		
給 食 目 標		身じたくを きちんとしよう	衛生に気をつけて 食事をしよう	じょうぶな歯をつくらう	夏の栄養		
特 別 活 動	給食の時間の指導	食器の置き方 ・食べる姿勢	箸の持ち方・食べ方	よくかんで食べる	バランスのとれた食事		
	学 級 活 動	給食のきまりを守ろう	食事のマナーを守ろう	丈夫な歯をつくらう	夏を元気にすごそう		
	児 童 会 活 動 (給食委員会)	給食委員会の 活動計画作成 給食ひとくちメモ放送	給食ひとくちメモ放送 縦割り班給食	給食ひとくちメモ放送 希望献立の募集 残菜調べ・給食集会	給食ひとくちメモ放送 希望献立の募集・実施 セレクト給食		
	学 校 行 事	身体測定・家庭訪問 授業参観・PTA総会	健康診断 修学旅行	プール開き 道徳公開	林間学校 教育相談		
教 科 と の 関 連	国語	1 年			ほんともだち おおきななぶ		
		2 年	ふきのとう	春がいっぱい	夏がきた		
		3 年					
	社会	3 年		見つめよう私たちの町			
		4 年					
		5 年		農業の盛んな地域	水産業の盛んな地域	これからの食糧生産	
	理科	6 年	大昔の暮らしを覗こう				
		3 年		植物を育てよう	植物のつくり		
		4 年	あたたかくなると ----->		暑くなると ----->		
	生活	5 年	植物の発芽・成長 ----->		生命の発生・成長 ----->		
		6 年		動物の体の働き			
		1 年		はるとともだち	野菜の栽培(植え付け)	野菜の栽培(収穫・夏) なつともだち	
		2 年		野菜の栽培(植え付け)	麦の収穫	野菜の栽培(収穫・夏)	
		家庭	5 年		食品の栄養	バランスの良い食事	
			6 年		調和のよい食事の取り方	食事を考えよう	
	保健	3 年					
		4 年					
		5 年					
6 年			病気の予防 ----->				
総合学習	3 年	大豆から学ぼう ----->					
	4 年	考えよう！みんなの幸せのためにできること ----->					
	5 年	見つけよう お米のひみつ ----->					
	6 年	わがふるさと 小笠原 ----->					
道徳	1 年		お世話になっている人				
	2 年		健康をまもる	かむかむメニュー			
	3 年						
	4 年		ぼくのへんしん				
	5 年		きょう土を愛する心				
	6 年	大切な自然環境を守ろう	ものを大切に	ありがたいと思う心			
個 別 指 導		食物アレルギー相談 食物アレルギー指導	食物アレルギー指導	食物アレルギー指導	食物アレルギー指導		
家庭・地域との連携		PTA給食部活動計画作成 給食だより	給食だより 1年親子給食試食会	親子料理教室 給食だより	試食会・給食だより 給食部だより		

項目	月	8 月	9 月	10 月	11 月	
保健目標		規則正しい生活をしよう		目を大切にしよう	かぜに負けない 体をつくらう	
給食目標		規則正しい食事をしよう		好き嫌いをなくそう	食べものを大切にしよう	
特別活動	給食の時間の指導	元気に過ごすための食生活(健康三原則)		目によい食べもの	赤・黄・緑の仲間の 食べもの	
	学級活動		朝ごはんを食べよう	好き嫌いなく 何でも食べよう	食べものに感謝しよう	
	児童会活動 (給食委員会)		給食ひとくちメモ放送 希望献立の募集・実施	給食ひとくちメモ放送 希望献立の募集・実施	給食ひとくちメモ放送 希望献立の募集・実施 残菜調べ	
	学校行事		運動会 身体測定	授業参観・陸上記録会 就学時検診	音楽会	
教科との 関連	国語	2 年		秋の一日		
		3 年			すがたをかえる大豆	
		4 年			仕事リーフレットを作ろう	
	社会	3 年	商店ではたらく人たち----->		わたしたちのくらしと農業----->	
		4 年	ごみはどこへ----->		昔のくらしとまちづくり	地域の文化財や行事
		5 年				
	理科	6 年			戦争と人々のくらし 花と実	
		3 年				
		4 年		すずしくなると----->		
		5 年				
	生活	6 年				
		1 年		あきともだち		野菜の栽培(収穫・秋)
		2 年			小麦を使った料理	
	家庭	5 年				ご飯とみそ汁
		6 年			楽しい食事を工夫しよう	
	保健	3 年				
		4 年				
		5 年				
6 年					病気の予防	
総合学習	3 年		大豆から学ぼう----->			
	4 年		考えよう! みんなの幸せのためにできること----->			
	5 年		見つけよう お米のひみつ----->			
	6 年		わがふるさと小笠原----->			
道徳	1 年		こころも元気からだも元気			
	2 年		心を結ぶあいさつ			
	3 年			自分の心への誠実	わたしたちのふるさと	
	4 年					
	5 年		気持ちのよいあいさつ	母校を愛する心		
	6 年			あいさつ	国を愛する心	
個別指導		食物アレルギー指導	食物アレルギー指導	食物アレルギー指導	食物アレルギー指導	
家庭・地域との連携			親子料理教室 給食だより	給食だより 給食部だより	給食だより 給食試食会	

項目	月	12月	1月	2月	3月	
保健目標		冬を元気に過ごそう		かぜの予防をしよう	健康生活の反省をしよう	
給食目標		食べたら休もう	給食に感謝しよう	牛乳を飲もう	給食の反省をしよう	
特別活動	給食の時間の指導	食後の休養の大切さ	感謝の気持ちの表し方	給食に牛乳が出る理由と飲み方	給食クイズ	
	学級活動	冬を元気に過ごそう	給食について知ろう	牛乳の栄養について知ろう	食生活の反省をしよう	
	児童会活動 (給食委員会)	給食ひとくちメモ放送 給食集会・セレクト給食 希望献立の募集・実施	給食ひとくちメモ放送 給食週間の取り組み	給食ひとくちメモ放送 希望献立の実施	給食ひとくちメモ放送 縦割り班給食 セレクト給食・お祝給食	
	学校行事	個別懇談	身体測定	新入学説明会 学年部会	卒業式 修了式	
教科との関連	国語	1年	ものの名まえ			
		2年	たのしい冬			
		6年			海の命	
	社会	3年		昔の人のくらしと願い		
		4年	地域の発展につくした人びと	わたしたちの県のまちづくり		
		5年		環境を守る	地球環境レポート	
		6年		日本とつながりの深い国々	世界の人々とともに生きる	
	理科	3年				
		4年		寒くなると		
		5年				
		6年			人と環境	
	生活	1年		ふゆとともだち		
		2年				
	家庭	5年	ご飯とみそ汁			
		6年		家族と楽しい食事		
	保健	3年			毎日の生活と健康	
		4年			育ちゆく体とわたし	
		5年				
6年		病気の予防				
総合学習	3年	大豆から学ぼう	大豆から学ぼう			
	4年	考えよう！みんなの幸せのためにできること	1/2成人式をしよう			
	5年	見つけようお米の秘密	鎌倉時代の歴史			
	6年	わがふるさと 小笠原	わがふるさと 小笠原			
道徳	1年					
	2年	命のつながり				
	3年	日本のよさ	かんしゃする心で			
	4年	バルバオの木				
	5年				わが国の文化を愛する心	
	6年	よりよい学校	日本人としてのほこり			
個別指導		食物アレルギー指導	食物アレルギー指導	食物アレルギー指導 食物アレルギー調査	食物アレルギー指導 食物アレルギー相談	
家庭・地域との連携		給食だより	給食だより	給食だより	給食だより PTA給食部活動の反省	

第3学年3組 社会科学学習指導案

授業者 内藤 真知子 (T1)

小野 和代 (T2)

1 単元名 調べよう 物を作る仕事

2 単元について

3年生の社会では、1学期に校区探検を行い、自分たちの住む「まち」を知る学習を行った。2学期はこれまで、「見直そうわたしたちの買い物」の単元において販売の仕事に携わる人たちの工夫や努力をどらえたり、自分の消費活動を見直したりすることをねらいとする学習を行ってきた。その際、どちらも見学活動や調べる体験活動を重視し、身近な事例をもとにした授業の展開を行ってきた。販売に関する仕事に対して、これらの仕事は子ども達にとってはあまり日常的なものとは言いがたい。しかし、生産活動と販売活動は強いつながりがあること以外にも、食の安全や環境への配慮といった部分で関連性が見えてきた。

そこで、次単元である「調べよう 物を作る仕事」のオリエンテーションでは、地域で生産された食べ物をその地域で消費していくという「地産地消」の現状と、そのよいところを知る学習を行う。このことにより、次時からの学習につなげるとともに、子どもたちに「給食」の食材を通して食の安全面や環境への配慮といった考えがより身近なものとして考えていってほしいと思う。

3 単元の目標

- ・自分たちの市で行われている生産活動について、働く人たちの様子や生産のための工夫をとらえるとともに、原料の仕入れや製品の出荷を通じた他地域とのつながりに気づくことができるようにする。
- ・地域の生産活動の移り変わりや、地域の自然環境・社会環境との関係をとらえ、地域の生産活動と自分たちのくらしとの結びつきについて考えを深めることができるようにする。

4 指導計画 (全1.3時間)

(1) オリエンテーション

「学校給食で地元の食材を使うのはなぜだろう。」 …1時間 (本時)

(2) 物をつくる仕事 (※1) …10時間

(3) パンフレットにまとめよう …2時間

※1 物を作る仕事について、教科書ではしゅうまい工場とほうれん草農家を取り上げられているが、地域の実態に応じて対応することになっている。本校3年生は、地元のはくばくを見学することを通して、取り組む人たちの工夫や努力、環境への配慮を学習していく。

5 個人テーマとの関わり

食に対する児童の実態として、給食の様子については、学年の中で1番よく食べるクラスである。育成隊への参加もはじまり、野菜を残すのは限られた子になってきた。しかし、少人数ではあるが、極端に偏食のある子がいて、毎日量を調整しながら少しずつ口に入れるよう様子を見守っている。「学校では食べられるけど家では食べられない」「見た目だけで判断する食べず嫌いが悩みである」といった保護者の意見もある。また、給食の放送で流れる一口メモでは、意外な食材が南アルプス市でとれていることには特に驚いて聞いている様子が見られる。本時を通して食により関心を持ち、今後の食生活に役立つ実感がもてることを期待している。

6 本時の授業

(1) 日時 平成23年10月26日(水) 2校時9:35~

(2) 場所 3年3組教室

(3) ねらい

地域の農産物について関心を高め、学校給食で地場産野菜や果物を取り入れていることや生産者の苦勞を知る。

(4) 食育の視点

- ・学校給食には地場産の農作物が使われていることを知り、その良さがわかる。(食品を選択する能力)
- ・生産者をはじめ多くの人々の苦勞や努力に支えられていることを知る。(感謝の心)

(5) 本時の展開 <T1 担任 T2栄養教諭>

時間	学習活動	指導上の留意点	資料
導入 5分	1 ある日の給食の献立の写真を見て、 食材(使われている野菜や果物)について考える。 ・献立 10月17日の献立	・南アルプス産の野菜が多く使われている献立の写真を提示する。 ・食材名を黒板に貼り付けていく。 (板書してもよい)	献立の写真
考える 5分	2 食材の中から、南アルプス市でとれたものはどれか考える。 ・米・きゅうり・さといも・りんご	・児童の意見が出たところで、地元産の農産物名を告げる。 ・農作物の写真を地図上に貼る。	南アルプス市の地図 農作物カード
15分	3 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">給食で、南アルプスで作られた野菜を使っているのはなぜだろう。</div> ・新鮮だから・おいしいから ・手に入りやすいから・安いから ・使ってほしいと頼まれたから ・あまっているから・安全だから	・個人で考えをもったところで、グループで話し合いをさせる。 <以上T1>	
知る 15分	4 地場産の野菜を使っているわけや昔は使えなかったわけを聞く。 (今使っているわけ) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・安心・安全・新鮮さ</div> (昔、使えなかったわけ) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ほしいものがほしい時に手が入らない。 複数の農家から手配しなければならない</div> (生産者) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">決まった量確保。形をそろえる 低農薬などの健康への配慮</div>	・今の様子と昔の様子にわけて説明をする。 ・生産者の方の納入の様子を提示する。(南アルプス市さといも農家) ・生産者の話をビデオで紹介する。生産者の苦勞や思いに焦点をおく。 <以上T2>	説明に使うもの(イラストなど) 生産者の方のメッセージ
まとめ 5分	5 学習のまとめをする。	・わかったことや感想をプリントにまとめさせる。(生産者への手紙や家の人へ伝える文章でもよい。) <T1>	プリント

(2) わかったこと・じゆぎょうの感想など



に「物のたいせつさがいわかり農がの人たあか
かんばってていてるのにがうのこしては
いいな」と思ひあかしは、ねたんか高くつ
に「はからたらしく南アルプスの物がつかえよ
たそうです。南アルプスの物は、もちろん
市外の牛乳のさあたまます。食食物は、大
にかうのこしては、いいな」と思ひました。

(2) わかったこと・じゆぎょうの感想など



おの先生が「さう食のことで話してくれました。
新せんでおいしくえいようがあることも教えてく
れました。あてに「見え思ひました。川崎つとむさんが
さといもやさいを育てると聞いて「川崎つとむさんの
やさいをのこさず食べたいです。やさいを育ててい
るということはみんながよろこんで食べられ
るんだ」と思ひました。今日のさう食も「さう食」か
わかりせん。

(2) わかったこと・じゆぎょうの感想など



わたしたちは、あたりまえにたべ物を食べて
いるけど、さう食の生産や農家の人たちは、
かんばって心をこめて、地産のやさしいで
「地産の子とを育てたい」というきもちが
あつて、さすがに思ひました。おまは子とを
思ひ、思ひ、でいるんは、さう食をしてくれるおかげ

(2) わかったこと・じゆぎょうの感想など



学校のさう食のやさしいや、くだものは、人の手で
くろうしなから作っていることか「わかりまし
た。わたしもさう食をのこさずきれいに
おま家の人にかんばってしなからさう食を
食べたいと思ひます。

(2) わかったこと・じゆぎょうの感想など



たべものつてたいせつな
たべものもあましかったです。
で、さるたけちやんたべようと
な、もいまたのやさしいかみかみ
なので、で、さるたけちやんたべも
りました。

(2) わかったこと・じゆぎょうの感想など



わたしは、さといもが大すきで、たくさんのこと
をしてもよかったです。おの先生にも
南アルプス市でなぜつくられている
かもおしえてもらえてよかったです。
ちやんとのことさず食べようと思いまし
た。さといもは、くしがたで作られて
いることをはじめでしりました。

(2) わかったこと・じゆぎょうの感想など



やさしいのうやぐをあまりつかわすしに
そだててくれているなどよくわかり
ました。ねっこねどとてとどけて
くれているので、すていとあましま
した。

(2) わかったこと・じゆぎょうの感想など



ね、ことが、1.1.2.ぬいて、い、てびく
りしました。そんなのうやぐをつか
わな11のが、びくりました。のうかの人
は、1.1.3.うやぐをして、た、え、た、な
ま、あ、ま、りました。